

授業科目名 ( 英文名 )	電子工学セミナー (Advanced Seminar on ElectronicEngineering II)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1、2、3年次・後期
担当教員	榎原 晃 河合 正 山本 真一郎	所属	工学研究科
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	光・電磁波、回路およびシステム関連の各専門分野の事項について、学生達が独立した研究者としての知識を習得することを目標にセミナー形式による教育を行う。具体的な内容は、マイクロ波、光回路の基礎理論とこれらのマイクロ波・ミリ波回路や光デバイスへの適用法、および、集中/半集中定数マイクロ波回路・平面回路のMMICへの応用、EMC・電波応用、さらに、アナログ電子回路、集積回路とMEMSセンサの融合、およびこれら技術の現状と将来展望に関するセミナーを行う。		
講義内容・授業計画	<p>( オムニバス方式 )</p> <p>( 榎原 晃教授 ) 光・電磁波回路：マイクロ波、光回路の基礎理論およびこれらの平面・立体構造のマイクロ波・ミリ波回路や光デバイスへの適用法、将来展望などについてセミナーを行う。</p> <p>( 山本真一郎准教授 ) EMC・電波応用：電子機器、情報通信システムにおける電磁環境対策技術の最新動向と将来展望に関するセミナーを行う。</p> <p>( 河合 正准教授 ) マイクロ波微細回路：集中/半集中定数化マイクロ波回路・平面回路のMMICへの応用、立体集積回路とRF-MEMS、およびこれらの回路技術の最新動向と将来展望に関するセミナーを行う。</p>		
テキスト	各教員の指定する参考書および配布プリント		
参考文献			
成績評価の基準・方法	試験，あるいはレポート等を評価し，60ポイント以上を合格とする。		
履修上の注意・履修要件	<p>必ず出席すること</p> <p>新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 ・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>		
実践的教育	該当しない		
備考			